

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	生涯学習推進				事業番号	007-045
担当部署名	市民人権局	局	市民生活部	部	生涯学習課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(4)安心して学べる教育環境の充実
			有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
			有	取組	生涯を通じた学びの支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市生涯学習基本方針（計画期間：令和4年度～令和8年度）		
3	事業開始年度	— 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 8 年度
4	実施根拠	教育基本法 教育振興基本計画		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁・地域団体				
6	事業の対象	全市民、堺市在勤・在学者			対象数	単位
					約80万	人
7	事業の目的	堺市生涯学習基本方針に基づき、市民の主体的な学びを支援し、学んだ成果を生かし、社会的課題の解決や地域の活性化につながる人材の育成を進める。				
8	事業内容	生涯学習の振興に係る企画及び総合調整、調査研究、関係機関等との連絡調整のほか、下記の事業を実施。 1. 生涯学習まちづくり出前講座（講座数：99講座） 2. 生涯学習サポーター養成講座 3. 生涯学習情報及び市内で活動する生涯学習団体・指導者の情報提供 4. 電話・メール等による学習相談の実施 5. 生涯学習市民活動団体（主にサポーター養成講座修了生）との協働事業 ◇生涯学習情報誌「ほっと」の発行 ◇生涯学習市民講座の開催 ◇生涯学習交流まつりの開催（スプリングフェスティバル） ◇ボランティアスタッフによる学習相談				
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—				
9	主な支出先	—				
10	公民連携・協働事業	市民活動団体との協働による生涯学習情報誌の発行や生涯学習市民講座の開催等				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
11	生涯学習市民活動団体との協働事業参加者数(生涯学習市民講座・生涯学習交流まつり等)	人	目標値 4,600	5,000	5,000	5,000
			実績値 4,597	4,130		
			達成率 100%	83%		
当該指標を選定した理由		協働のパートナーである生涯学習市民活動団体の活動状況から、市民の学びの広がりを把握できるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルスの影響を受ける前の実績値を考慮して設定。				
活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12	生涯学習サポーター養成講座受講者数(単年度)	人	目標値 40	40	40	
			実績値 25	36		
			達成率 63%	90%		
当該指標を選定した理由		受講後の活動が、市民の生涯学習の広がりにつながることが期待されるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		講座の募集定員を目標値として設定。				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	生涯学習推進	事業番号	007-045
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	518	451	1,110	681	751
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	518	451	1,110	681	751
14	人件費（b）	15,390	15,390	15,960	15,960	20,010
15	年間経費（c）=(a)+(b)	15,908	15,841	17,070	16,641	20,761

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	謝礼金	R7	決算	55	55	郵便料	R7	決算	22	22
		R8	予算	169	169		R8	予算	43	43
	普通旅費	R7	決算	8	8	保険料	R7	決算	3	3
		R8	予算	45	45		R8	予算	4	4
	消耗品費	R7	決算	102	102	備品購入費	R7	決算	217	217
		R8	予算	107	107		R8	予算	0	0
	印刷製本費	R7	決算	161	161	その他使用料及び賃借料	R7	決算	10	10
		R8	予算	250	250		R8	予算	7	7
	通信運搬費	R7	決算	102	102	研修会等参加負担金	R7	決算	1	1
		R8	予算	126	126		R8	予算	0	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和6年度	令和7年度
		4,597	4,130
① 生涯学習市民活動団体との共同事業参加者数	人	4,597	4,130
② 上記①にかかる年間経費	千円	294	302
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	64	73
算出についての説明等		②生涯学習市民活動団体との協働事業において市が支出する年間経費（人件費含む）	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	生涯学習市民活動団体との協働事業については、健康管理や生活設計、スマートフォンの操作方法など多様なジャンルの市民講座を開催。また、舞台発表や作品展示会等、様々な学びの機会を提供した。生涯学習交流まつりでは、悪天候の影響により参加者が減少したことから、単位当たりの経費が前年度より僅かに増加した。 生涯学習サポーター養成講座については、令和3年度から教育委員会事務局の人材育成講座と合同で開催しており、経費の抑制、講座内容の充実、受講者間の交流の促進を図ることができている。SNSを活用した広報により、受講者数も増加し、受講者上限数である目標値に近づく結果となった。今後も広報活動に努め、講座内容の更なる充実等により、受講者の増加を図る。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	市民への学びの機会の提供や様々な媒体を用いた学習情報の発信、また、学んだ成果を生かす取組は、「堺市基本計画2030」で示す「生涯学習の推進（重点3施策4⑥）」や、「堺市SDGs未来都市計画」の取組「生涯を通じた学びの支援」（ターゲット4.7）にも寄与している。 生涯学習の推進は、個々の人生を豊かで充実したものにするだけでなく、学習活動をきっかけに交流が生まれ、さらに学習成果をボランティアや地域活動に生かすことで地域社会の活性化や社会的課題の解決につながる事が期待できる。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性 ■ 高い □ 低い	当該事業は、生涯学習を推進するもので、「堺市基本計画2030」で示す「生涯学習の推進（重点3施策4⑥）」や、「堺市SDGs未来都市計画」の取組「生涯を通じた学びの支援」（ターゲット4.7）に合致するものであり、その必要性は高い。また、生涯学習市民活動団体との協働事業により、学びで地域とつながる仕組みを事業運営自体に取り入れており、事業の有効性は高いと考える。
	有効性 ■ 高い □ 低い	